

(別紙)

厚生労働省の業務改善事例 (平成22年5月第4週までの報告分)

改善事例1

日本年金機構と年金局の連携体制の強化
(コンプライアンス上の問題がある事案への対応)

【改善点】

日本年金機構(以下「機構」という。)の事業運営に当たっては、コンプライアンス上の問題が生じることのないよう、これまでも、機構と厚生労働省年金局が連携して対応してきたところです。

今般、機構においてコンプライアンス上の問題がある事案が発生した場合に、その原因究明や再発防止策の立案・実施等の対応を、これまで以上に適切かつ迅速に行うことができるよう、年金局として対応方針(「日本年金機構におけるコンプライアンス事案発生時の年金局の対応について」)を決定し、必要な体制を確保しました。

今後とも、機構と年金局が連携し、適切な事業運営を行ってまいります。

(照会先)

年金局事業企画課監査室監査係(内線 3552)

改善事例 2

農業従事者の労災保険への特別加入の促進

【改善点】

労災保険は、本来、労働者の業務上の負傷、疾病、傷害、死亡等に対して保険給付を行う制度ですが、労働者以外の方であっても、その作業の実態や災害の発生状況などからみて、特に労働者に準じて保護する必要があると認められる一定の方々に対しては、特別に任意加入（＝特別加入）を認めています。

今般、労災保険に特別加入している農業者の割合が、農業人口の4%程度という少ない状況を踏まえ、各労働局に対し、

農業従事者の方が労災保険への特別加入を促進するためのJA（農協）の取組に積極的に協力すること

加入申請があった場合には円滑に処理することを指示しました。

（照会先）

労働基準局労災補償部補償課企画調整係（内線 5465）

改善事例 3

労働基準監督署、ハローワークの窓口の利用時間のHP掲載方法の改善

【改善点】

労働基準監督署やハローワークを利用される方が、これらの窓口にも容易にアクセスできるように、全国の労働基準監督署やハローワークの所在地や案内図を厚生労働省ホームページに掲載しておりますが、一般の方から、「営業時間についても分かりやすく掲載して欲しい」といった御意見をお寄せ頂きました。

こうした御意見を踏まえ、厚生労働省ホームページ中の「全国労働基準監督署の所在案内」及び「全国ハローワークの所在案内」のページに、それぞれの利用時間について掲載し、容易に確認することができるようにしました。

労働基準監督署のご利用時間は8：30～17：15（平日）となっております。

ハローワーク各種窓口のご利用時間は8：30～17：15（平日）となっております。職業相談サービスについて平日夜間及び土曜日もご利用可能な施設については、次のページをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/kyujin/shisetsu.html>

（照会先）

労働基準局監督課企画係（内線 5423）

職業安定局総務課

公共職業安定所運営企画室管理係（内線 5721）

今週の現場訪問・意見交換 1

RSD患者団体の方との意見交換

【概要】

RSD (1) は、CRPS type (2) と呼ばれていて、外傷等をきっかけとして、傷害部位に激しい痛みが持続し、しびれや腫れ、発汗障害等が出現する原因不明で治療法も確立していない病気です。

「慢性の痛み」対策の参考とするため、5月11日にRSD患者団体の方々との意見交換を行いました。今後とも、頂いた御意見も踏まえながら、「慢性の痛み」対策に取り組んで参ります。

1... RSD

(The Reflex Sympathetic Dystrophy : 反射性交感神経性ジストロフィー)

2... CRPS (Complex Regional Pain Syndrome : 複合性局所疼痛症候群)

(寄せられたご意見)

CRPSは病気の認知度が低く、診断も困難なため、患者は適切な対応・治療が受けられない。さらに、病状(激しい痛み)を理解してもらえないことで、精神的にも苦痛を感じている。

そこで、病気を多くの人に知ってもらいたいし、実態調査、原因究明、治療法の確立等に向けて、しっかりと研究を推進してもらいたい。また、難病指定等、社会保障を整備してもらえるとありがたい。

(照会先)

健康局疾病対策課アレルギー疾病係(内線 2354/2359)

今週の現場訪問・意見交換 2

フィリピン人介護福祉士候補者を受け入れている介護老人保健施設への訪問

【概要】

経済連携協定に基づく介護福祉士候補者の受入れについての課題を把握し、今後の施策の参考とするため、フィリピン人介護福祉士候補者 2 名を受け入れている介護老人保健施設（世田谷区）を訪問し、職員の方との意見交換を行いました。

意見交換においては、

- ・ 候補者と利用者やその御家族、日本人職員との関係は概ね良好である。笑顔を絶やさず、人当たりも良い。
- ・ ただし、日常会話にも一部支障を来すなど、日本語能力の習得状況が不十分な候補者もいる。施設内での学習を工夫し、就労・研修時間中に日本語学習を行っているが、費用・労力面での負担が大きい。

といった指摘をいただきました。

（照会先）

社会・援護局福祉基盤課指導係（内線 2866）

（注）この資料は、厚生労働省内の各部局において実施した業務改善事例や実態把握のための取組の中から、主なものを抜粋し、取りまとめたものです。